

言語聴覚療法ってなに？

センターでは歯の治療以外にも機能療法として、言語聴覚士がことばやコミュニケーションに問題がある方に対して言語聴覚療法を行っています。今回のセンターだよりでは、言語聴覚療法についてご紹介させていただきます。

◆言語聴覚療法とは

～ことばとコミュニケーション機能の改善をめざす～

ことばは相手に自分の意志や要求を伝えるコミュニケーションをとるための重要な手段です。病気や事故、発達上の問題でことばとコミュニケーションの機能に問題がある方に対して、言語聴覚士が個別指導を行い、機能の獲得や改善を図り、よりよい生活が送れるように支援します。

センターでは、国家資格を有する言語聴覚士（Speech Therapist: ST）が評価や訓練、指導を行っています。歯科治療と並行して訓練、指導を受けることができるため、口の中の形態的な問題（歯並び、噛み合わせなど）に対して早期発見、早期対応がしやすくなります。

◆対象となる人

●ことばとコミュニケーションに問題がある方

- ・話しかけても反応しない
- ・ことばが増えない
- ・発音が不明瞭
- ・集団生活になじめない
- ・疾患や病気による言語障害

など

◆言語聴覚療法の内容

◇ 検査

医療面接に合わせてことばの検査を行い、ことばの理解や表出、苦手な発音など、現在のことばとコミュニケーションの力を確認します。



絵画語彙発達検査

「語彙の理解力」の発達を測定する検査



国リハ式＜S-S法＞言語発達遅滞検査

言語の発達レベル1歳前後～就学前まで評価ができる検査

◇ 訓練

患者さんの発達レベルや言語段階に合わせて訓練を行います。1回の訓練は30～45分で、聞く 読む 書く 話す といったコミュニケーション能力を養っていきます。

訓練については、言語発達遅滞児に対する絵カードを使った訓練やコミュニケーションが苦手な自閉症スペクトラム障害児へのソーシャルスキル訓練、機能性構音障害児・者への構音訓練、鼻咽腔閉鎖機能不全児・者へのブローイング訓練など、さまざまなアプローチ法があります。

また、発達の検査、評価のみ行うこともあります。得られた検査、評価の結果は訓練に役立つだけでなく、歯科診療への適応の目安にもなります。

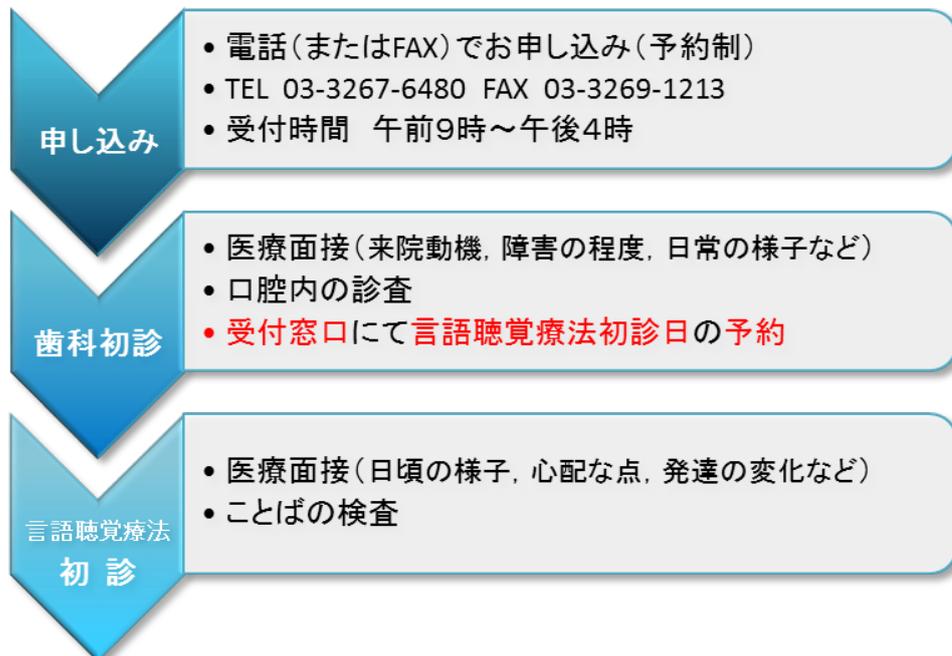


絵カードを利用して、ことばの確実な理解と表出を経験する



ソーシャルスキルカードを利用して暗黙のルールなど社会性、人とうまく関わるコミュニケーションスキルを学習する

◆ 予約から言語聴覚療法までの流れ



今回は、センターにおける言語聴覚療法をご紹介します。

もし、ご家族、お知り合いの方で「ことばの発達が遅い」「小学生になっても単語しか話せない」「“サカナ”が“タカナ”になってしまう」「脳卒中後、ろれつが回らなくなった」など言語障害でお困りの方がいらっしゃいましたら、是非専門職種である言語聴覚士にご相談、ご紹介ください。

今後も、センターだよりでは患者さんや保護者、皆様のお役にたてる情報を提供していきたいと思っております。